

令和6年度第2回大洗町地域公共交通会議 議事録

日 時： 2025/3/25(火)13:30～14:20

場 所： トヨペットスマイルホール大洗 会議室

出席者： 関会長、山田副会長、大里委員、飛田委員、鬼沢委員代理、栗田委員、服部委員、
小菅委員、菊池委員代理、菅原委員、小林委員、石井委員代理、田中委員、
長谷川委員、深作委員、林委員代理、芦野委員代理
事務局

大洗町役場まちづくり推進課 海老澤課長、鈴木係長、深谷
株式会社アルメック

資料： ・次第
・出席者名簿
・資料 1_町内循環バスの再編について
・資料 2_令和7年度事業計画(案)

1. 開会

2. 会長挨拶

○年度末の多忙の中お集まりいただきありがとうございます。今年度の会議では昨年度策定した地域公共交通計画の柱である町内循環バスの再編について議論してきた。前回は500円タクシーの実態や調査結果について議論いただいたが、運行時間を1時間延長したほか、4月からは運行事業者がもう1社加わり3社体制となる。今回は町内循環バスの再編について議論していくので、忌憚のない意見を頂戴したい。(会長)

3. 議題

(1) 町内循環バスの再編について

○(資料1について説明)(事務局)

○項目を分けて質疑する。まず、全体の検討の流れについて確認いただきたい。大きな方針について意見や質問はあるか。(会長)

○事務局で整理された課題とその対応については尊重したい。ただし、資料中に懸念事項として挙げられている通り、労働時間が延びることが懸念される。運転手不足や働き方改革の中でどう調整していくか、事務局と交通事業者とで協議してほしい。(委員)

○データを整理して今後の方向性が示されたのはありがたい。「町負担額は変えず、運賃200円に引き上げ、ルートを変更し、運行便数は現行より少ないが運賃100円を維持する案1よりは多い」という案2を事務局案とすることについては、高齢者の増加に伴い税収も下がっており、燃料費も高騰していることから、やむを得ない。現行運賃を維持することは町の負担が大きいため、異論はない。フィーダー補助についても活用いただきたい。また、令和6年7月に「交通空

白」解消本部が立ち上がった。こちらの補助も予定されているので活用していただけると良いと思う。(委員)

⇒貴重な意見に感謝する。今後とも支援を賜りたい。(会長)

○運賃をどうするかは色々な考え方があるが、具体的には令和7年度に議論していく。今回の会議では、案2で考えたとき、走行距離の総量をどういう割合で各ルートに割り振るかを考えていく。また、南部は増やせないということや、町民向けと観光客向けを分けると分かりやすくなるが走行距離が増えるということの是非などを考えていく。(委員)

○他に意見がなければ、具体的な議論は来年度になるが、この方向性で進めて良いか。(会長)

⇒(意見なし)

⇒ではこの方向性で進める。(会長)

○続いて、再編案のルートやバス停について意見はあるか。(会長)

○観光ルートへの再編について、思い切ったルートだと思うが、観光利用のとても多いコミュニティバスなので良いのではないかなと思う。ただ心配なのは、公園墓地入口バス停などを今まで利用していた方は経由しなくなるが、問題ないのか。(委員)

⇒公園墓地入口バス停などについては、町民向けのルートを運行することになっているので、町民利用については大きな影響は出ないと考えている。(事務局)

○利用者を増やしていかないと存続に繋がらないが、今回の再編にあたり広報への掲載やパンフレット作成など具体的な予定はあるか。(委員)

⇒再編後には周知に力を入れる。観光客向けには観光部局の力を借りてモデルルートを示し周知を図る。町民に対しては無料で乗車できる機会を設けることや、町内循環バスで行くことができる施設が分かりやすいマップの作成などを検討する。(事務局)

⇒観光客向けのルートと住民向けのルートを運行している事例として笠間市があるが、ターゲット層が違う部分があるため、利用者に見合った取り組みをすとなお良い。収支についても路線ごとに観光客向けなのか住民向けなのかで分けておくと後で分析しやすいのではないかな。(委員)

⇒ルートの再編で住民にとって複雑化するため、案内は大事である。(会長)

○観光利用者へのアピールが難しい。来訪者全体のうち鉄道で来る人は1割に満たない程度だと思われるが、その人たちが町内循環バスを利用すれば収支への影響は大きい。途中まちなかで降りて買物してもらうことも考えられることから、商店街で降りられるようにするという戦略もあり得る。(委員)

⇒観光ルートに商店街を入れた方が良いのではないかな。めんたいパークからマリンタワーの間に商店街を経由することなどが考えられる。商店街で買物する人も少なからずいるため、検討して欲しい。(委員)

⇒商店街にバスを通すのか、町内循環バスからは歩いてもらい商店街を通っている既存の路線バスを利用してもらうのか、検討しつつモデルコースを示せると良いと考えている。(事務局)

⇒歩かせるならその誘導施策も必要になるので、慎重に検討して欲しい。(委員)

- ⇒観光ルートを中心商店街に通すかは座長としても検討すべきと考える。(会長)
- 実証運行を経て変更する場合は、また今回のような会議を開くのか、もしくは行政内部で決定するのか。(委員)
- ⇒利用状況を会議で報告し協議していく。(事務局)
- 500 円タクシーの利用が伸びており、4月からは運行事業者が3社になり利便性が増す。乗合での運行ができると経費を少なく観光地を回る運行なども可能になる。小回りの利くタクシーでできることがあれば検討してほしい。(委員)
- ⇒500 円タクシーの利用が伸びており、経費の増加具合によってゆくゆくは乗合化も検討する。その際に観光施策も考えられる。(事務局)
- 2点質問する。1点目は、資料1の3ページの現行のアクアワールド・大洗ルートで 14 時台から 16 時台に毎時1本運行されているのが再編案の中心部商店街ルートでは1本もなくなっているが、利用が少ないから減らしたのか、他の理由があるのか。2点目は、新設する祝町西(仮)バス停付近は道幅が狭いが、バスの通行に支障はないか。(委員)
- ⇒運行する時間帯や便数については、町がどれだけ経費を出せるかというところになるが、ひとまずはその時間帯は 500 円タクシーで対応してもらうことを考えている。祝町西(仮)バス停付近については現地調査の上通行可能だと判断しているが、実際の検討にあたっては今後運行事業者に確認してもらう。(事務局)
- 事務局には再編後についても検討してもらいたい。路線ごとに損益分岐点を算出し検討すると、3～5年後に路線を変えていくポイントになる。収支が一定の基準を切った時に変更を検討する等、より効果的に取り組める。(委員)
- ⇒運行経費について資料1の8ページに示しており、経費が大きいと見込まれるのは通学対応だが、学校の統廃合による部分も大きいことから、慎重に検討する。(事務局)
- 議題(1)については、観光ルートを中心商店街経由について検討する他は、今回示された方向性で進める。(会長)

(2) 令和7年度事業計画(案)について

- (資料2について説明)(事務局)
- 会議は2回を予定し、地域公共交通計画の改定は町内循環バスの再編が盛り込まれるということか。(会長)
- ⇒そうである。(事務局)
- 他に意見、質問がなければこの形で進めるということで良いか。(会長)
- ⇒(異議なし)
- ⇒ではこの通り進めることとする。(会長)

4. 閉会

以上